



News Letter

順天堂大学女性研究者支援室

文部科学省科学技術人材育成補助事業

「女性研究者研究活動支援事業 合同シンポジウム」-今後の女性研究者研究活動支援について- 参加レポート 男女共同参画推進室研究支援コーディネーター：古田晶子

11月20日(火)に市ヶ谷のJST東京本部で文部科学省主催による女性研究者研究活動支援事業合同シンポジウムに出席しました。本シンポジウムは、午前中にポスター発表と分科会、午後から分科会発表とパネルディスカッションが行われ、終了後に参加者による意見交換会が行われ活発な討論が行われました。

午前中のポスター発表で本学は、女性研究者研究活動支援事業として実施している「順天堂モデルの提案：オーダーメイド型女性研究者養成プラン」を紹介しました。本学では平成23年度から文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の支援を受けており、現在までに女性研究者支援室の開設とホームページ立ち上げ、キックオフシンポジウム開催、支援者と被支援者の募集とマッチングやカウンセリングを行い、順調に事業を進めてきています。特に出産育児や介護等ライフイベント時に研究継続を可能にするオーダーメイド型の支援構築に力を入れています。今後、支援の結果が女性研究者の業績と登用に結びつくように努力していきたいと考えています。

分科会は採択された67大学・機関がA(大規模機関)、B(中規模機関(都市部))、C(中規模機関(地域))、D(医学系機関)、E(理工農学系機関)、F(女子大学)の各グループに分かれて検討しました。本学は

Dグループに属し、他の医科系大学とともに課題の女性研究者の数、業績、リーダー育成以外にも医学部に特有な育児期の女性医師就業率低下(M字カーブ)問題と大学院生支援の必要性について話し合いました。また、女性医師自身が仕事を継続することは社会貢献に繋がるという認識が低い傾向にあることが問題提起されました。Dグループの座長は、東邦大学理学部長、大島範子先生で、2時間にわたって激論された多くの意見を短時間のうちにまとめられ、医学系機関からの提言として午後からの分科会発表で報告されたのが大変印象的でした。



パネルディスカッションのテーマは「成果の検証と課題解決のための模索」で、郷通子先生(元お茶の水大学学長)はじめ著名なパネリストの御意見を伺うことができました。まず、女性研究者の数では、数を減らさない努力として環境整備のために研究支援者の有用性と病児病後児保育の必要性があげられました。各大学がそれぞれユニークな方法で環境整備に取り組んでいるようです。研究者の数を増やす方法としてpositive action(能力が同等なら女性教員を採用する等の施策)を行っている大学は、学長や執行部の理解が必須であるということでした。女性リーダーの育成にはロールモデルになる女性研究者との交流やメンター制度を取り入れて若い研究者を育てることが必要です。パネリストから「いろいろな個性を伸ばしていく」「女性研究者でネットワークを形成する」「失敗を恐れずhungryな精神で、昇進の機会を断らない」という御意見が出されました。

意見交換会では、研究者やJST、文部科学省関係の方々や交誼を深めることができましたが、その中でも九州地区女性研究者支援事業の重鎮である長崎大学副学長大井久美子教授の歯切れがいいお話を直接伺い楽しい時を過ごしました。

全体的な感想として大変有意義なシンポジウムであり、女性研究者研究活動支援事業を契機として、この白熱した議論が、各研究機関に広く、そして社会全体に浸透し、女性研究者育成に対する意識が醸成され、医学部の特殊性を考慮した女性医師研究者支援事業に波及していくことを期待しています。



シンポジウム開催のお知らせ

文部科学省科学技術人材育成費補助金女性研究者支援モデル育成事業

順天堂大学 平成24年度シンポジウム

女性外科系医師・研究者からのメッセージ

～次世代女性研究医への期待～

基調講演

■女性研究者支援の現状と未来

JST 科学技術システム改革事業 プログラムオフィサー 山村 康子先生

特別講演

■外科領域女性リーダーとしての取組

「外科女性医師へのメッセージ～一緒に頑張りませんか～」
藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科学 教授 加藤 庸子先生

「産婦人科における男女共同参画実現のために」
九州大学大学院 医学研究院 生殖発生生理学 教授 加藤 聖子先生

「女性医師のリーダー 育成について」
順天堂大学大学院 医学研究科 乳腺・内分泌外科学 教授 齊藤 光江先生

■本学における若手外科系

女性研究者からの研究紹介

田中 奈々 小児外科

河野 春奈 泌尿器科

松岡 理奈 耳鼻咽喉科

三島 有美子 脳神経外科

日時：平成24年12月22日(土)
14:00 - 17:00
(終了後意見交換会)

会場：順天堂大学 10号館 1階
カンファレンスルーム

入場無料 ● 託児ルームを設置いたします 参加申込・託児所利用申込 j-danjyo@juntendo.ac.jp
(託児所ご利用の場合はメールに、お子様のお名前(ふりがな)・年齢及び月例・性別・緊急連絡先・留意点をご記入ください)

相談室について

- 研究の事、家庭の事困った事があれば一人で悩まず何でも相談してください。女性研究支援室から相談員がお話を伺いいたします。(個人情報取扱については徹底いたします)
- 連絡先: sankaku@juntendo.ac.jp
- 担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤

搾乳室について

- 男女共同参画推進室では健康管理室の支援を頂き搾乳室の運営が行える事となりました。事前登録制となっておりますので希望者は男女共同参画推進室ホームページから申込みをお願いいたします。
http://www.juntendo.ac.jp/kyo_doss_support01.html
- 担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤

ベビーシッター育児支援制度のご案内

- 仕事と子育ての両立を支援する「ベビーシッター育児支援制度」を導入しています。ベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金(1日につき1700円以上のサービスに限る)から1700円割引が受けられます。子育て中の教職員の方はどうぞご利用ください。
- 詳細は以下のホームページを参照して下さい。
http://www.juntendo.ac.jp/kyodoss/baby_sitter.html
- 担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤